5．無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用
該当ありません。
6．特定償却資産の除却損
特定償却資産の除却損については従来「損益外固定資産除去相当額」に計上していましたが、当事業年度より「損益外除売却差額相当額」の区分に計上しています。これによる国立大学法人等業務実施コストに与える影響はありません。
［固定資産の減損関係］
1．減損を認識した固定資産に関する事項
⑴　旧工学部の土地、建物及び構築物
①　用途（旧工学部の教育・研究用）、種類（大学校舎とその敷地）、場所（石川県金沢市）、帳簿価額（土地3,792,860,000円、建物146,937,122円、構築物932,987円）
②　経緯（角間地区への移転事業完了に伴い遊休となっています）
③　減損額（損失処理額―、損益外処理額　土地288,257,360円、建物2,923,852円、構築物5,791円）
④　大学キャンパスのため、建物及び構築物は、複数資産が補完的な関係にあるので複数の固定資産を一体として判定しています。
⑤　回収サービス価額は、使用価値相当額とし、不動産鑑定士による当期末時点修正率に基づく評価額に基づき、算定しています。
⑵　病院の建物
①　用途（病院の診療用）、種類（診療用建物）、場所（石川県金沢市）、帳簿価額（建物1,449,755円）
②　経緯（病院再開発整備事業に伴い遊休又は当該建物の使用実績が取得時に比べ著しく低下する見込みとなっています）
③　減損額（損失処理額―、損益外処理額　建物806円）
④　回収サービス価額は、使用価値相当額とし、不動産鑑定士による当期末時点修正率に基づく評価額に基づき、算定しています。
2．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）に関する事項
⑴　旧工学部の建物及び構築物
①　用途（旧工学部の教育・研究用）、種類（大学校舎）、場所（石川県金沢市）、帳簿価額（建物386,073,447円、構築物4,574,573円）
②　経緯（角間地区への移転事業完了に伴い遊休となっています）
③　大学キャンパスのため、建物及び構築物は、複数資産が補完的な関係にあるので複数の固定資産を一体として判定しています。
④　根拠（回収可能サービス価額が期末帳簿価格より高額のため、減損処理する必要がありませんでした）
⑵　病院の建物
①　用途（病院の診療用）、種類（診療用建物）、場所（石川県金沢市）、帳簿価額（建物116,485,463円）
②　経緯（病院再開発整備事業に伴い当該建物の使用実績が取得時に比べ著しく低下する見込みとなっています）
③　根拠（回収可能サービス価額が期末帳簿価格より高額のため、減損処理する必要がありませんでした）
⑶　電話加入権
①　用途（遊休）、種類（電話加入権）、場所（石川県金沢市他）、帳簿価額（1,909,800円）
②　概要（休止回線のため、固定資産の使用可能性が著しく低下しています）
③　根拠（兆候があった固定資産は、遠隔監視用接続回線としての将来の使用が想定されています）
3．翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定を行った場合に関する事項
該当ありません。
［重要な債務負担行為］

（単位：円）

件　　名	契　約　額	翌期以降支払額
（宝町）総合研究棟Ⅰ（医学系）新営その他工事	1,018,500,000	556,047,950
（宝町）総合研究棟Ⅰ（医学系）新営機械設備工事	191,100,000	170,651,665
（宝町）総合研究棟Ⅰ（医学系）新営電気設備工事	262,374,000	196,754,305

［金融商品関係］
1．金融商品の状況に関する事項
当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定しています。
資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人法第47条の規程に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有していません。また、未収附属病院収入は、債権管理及び出納事務取扱規程に沿ってリスク管理を行っています。
国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しています。
2．金融商品の時価等に関する情報
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（※１）	時価（※１）	差　　額
⑴　投資有価証券及び有価証券			
満期保有目的の債券	2,031,665,861	2,050,007,121	18,341,260
⑵　現金及び預金	8,133,946,656	8,133,946,656	―
⑶　未収附属病院収入	4,233,929,289		
徴収不能引当金（※２）	△　147,906,180		
	4,086,023,109	4,086,023,109	―
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金	(18,011,284,450)	(18,511,126,764)	△　499,842,314
⑸　長期借入金	(15,371,632,000)	(15,367,358,852)	4,273,148
⑹　リース債務	(1,745,311,267)	(1,787,938,684)	△　42,627,417
⑺　ＰＦＩ債務	(4,815,725,938)	(4,928,933,200)	△　113,207,262
⑻　未払金	(5,310,966,006)	(5,310,966,006)	―

（※１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しています。
（※２）　未収附属病院収入に計上している徴収不能引当金を控除しています。